京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金三十錢 ▲三ヶ月前金九十錢 ▲六ヶ月前金一圓八十錢 ▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢 ▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久繁一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話 大六三番 振替口座京城 四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話 二一一番

東京だより

英國の二大政黨（一）

●英國上院改革法案は二百四十三對三百六十八の多數を以て下院の三讀會を通過せる電報に接し候、英國に於ける二大政黨たる自由保守兩黨の袖領で議案に就て各々賛否の議論を闘はせ互に懸河の辯を揮ひ舌頭露を湧し口吻を吐きつゝ相譲らざりしは近來の見物に有之候由、蓋し英國上院改革は前年より自由黨の絶叫する所にして、且つ保守黨の排斥なしをる問題に候、今茲に兩黨の主義綱領及其首脳人物を報ずるも亦興味あることゝ存候。

●兩黨の政策と申しても、頗る複雜致し居り一篇の通信能く之れが詳細を盡すことは不可能に候得ば、茲には唯其根本義とも申すべきものに就て聊か聞知したる事を可申上候。

●要するに兩黨の主義政綱の異なるは保守主義と自由主義との對抗に無之、帝國主義と社會主義との爭に有之候。

●自由黨の根本政策に就て見んか、社會主義的、自治的思想は髣髴として字句の間に看見せらるべく候、曰く貴族院の改正、愛蘭の自治、大多數國民の平均的幸福の增進、自由貿易の維持。

●何れも自由黨年來の政策に有之候。

●今回下院二讀會を通過せし貴族院の改革法案の如き、自由黨が極力主張のものにして、其主張の要領を摘めば、貴族院を有害無益の機關なりとするにあり、而して其理由として貴族院を改革せざるは少數なる一部階級の權利と利益を擁護するのみにして、大多數國民の幸福を犠牲に供するものなりと絶叫し、且つヂスレリーやグラドストンや乃至はサリスバリーの內閣時代に、貴族院が如何に屢々國務の進行を妨げたるかを例示し、尙大多數國民の信任の下に成立せる政府が提唱し國民の代議府即ち下院に於て議決せる事項に對して、貴族院が否認權を行ふは數百年の昔に行はれし憲法政治の慣例を今日に行ふものにして文明の仇敵なり、宜しく全廢して可なるも從來の歷史を重んじ之を改革せんとするにありと呼號致居るものに有之候。

●保守黨即ち統一黨の方では、前掲自由黨の主張に對して「貴族院の改正は素より可なるも之を破壞せんとするは斷じて不可也、自由黨の改正革は其實破壞案にして、光榮ある英國の歷史は之れに因て蹂躙せられ、今日迄世界の模範を示し來れる英國憲法政治の妙用は悉く打破せらるゝに至らん、是我黨の忍び能はざる所也、自由黨は常に文明進步と口にすれども、彼黨は未だ眞の文明眞の進步を解しをらず、唯現制度の破壞を以て文明なり進步なりとなすなり、我徒は之に與する不能」と絶對に自由黨の政策を否認いたし居候。

●上院改革案に就ての二大政黨の主張要點如此、之に就て吾人は是非するの權を有せず、唯識者の判斷に便せんため、英國現時の貴族院の組織を報道可仕候。（覓生）

最近各地金融

韓國銀行調査に係る朝鮮各地樞要の地に於ける二月中の金融狀況を聞くに左の如し

▲仁川　前月に引續き閑散の時期にして金融は甚しき變動なしと雖も米價は漸次昇騰せる爲め地方よりの運荷增加し從て大連大阪等は相當の輸出あり爲めに此の方面の金融は稍や繁忙を呈せり

▲馬山　前半月に比し米穀の出荷も增加せし爲め金融稍や動き一般を通じて出入頻繁となり貸出の增加を見ると同時に預金の引出し頻繁なりし

▲鎭南浦　例年二月は最も閑散の時期にして一般に不振なりしも月末に至りては解氷に近きし事とて何んと無く景氣付きたるの感あり而して地方に於ける穀物の買付並に郡に於ける籾の殼買等引續き盛んにして此の方面の資金の需用ありて一般の出廻はり盛んなりし

▲新義州　食料品雜貨等の多少着荷ありたるも何等特筆すべきものなし依然不振の狀態にあり（終）

滿洲大豆近況

滿洲

滿洲に於ける大豆及大豆粕相場が一低一昂殆んど常なき狀態を呈せるに就き此程大連より歸來せる營業者の談に曰く客月中の大豆最高相場三圓七十六錢に對する最低三圓四十八錢を示し其間實に二十八錢の開きあり又豆粕は最高一圓四十二錢最低一圓三十五錢にして七錢の開きある事到底尋常の推測を以て今後の傾向を付度する能はざるが最[illegible]向け出荷勸誘の陳情をなし又關東都督府佐藤總長より之に關し照會ありたるより不取敢奥筋地の營業者宛同組合より出荷勸誘に就き勸誘せる結果滿鐵各驛持込高俄かに增加し來り現に二月中旬頭一万七八千噸に低減せし各驛殘貨も同月末毎日の總高二萬三四千噸に上り又大連埠頭着貨物高も客月中旬頭は一日二千餘噸に減じたるもの昨今平日優に四千噸乃至五千噸に增加し居れば現在の儘にして今後雪解け若くは其他の事情に因り各地出荷減少するの曉には各驛殘貨は其時拂底となるやも知れず前途の形勢益々暗澹たるものあれば目下の割高相場も那邊迄暴騰するやも測り難し云々

●△南米　パラグエイ國の叛軍は各方面より同國の首府に進擊しつゝありと。

在滿鮮人取締商定

交涉使韓國鈞氏の在任にて立案せる在滿州朝鮮人取締商定は錫總督の批准を經たる上日本に對し商議を開始すべし

外事一束

△撤兵　駐英清國公使は英政府が片馬より撤兵に同意したる旨を打電せり。

△可決　米國上院はパナマ運河開鑿費同防備費四千八百五十八萬弗を可決。

△宣言　波斯攝政王は議會に對し其黨爭を全廢し一致協同國力發揚を求む。

△墺國　匈國代議院は政府提出案たる第一ドレッドノート級戰艦費を可決。

△獨逸　政府は佛國新外相が獨逸との交誼的精神を維持し益親密を希望す。

△頌德　露國にて農奴解放五十年紀念祭擧行せられ露帝に頌德表を奉呈す。

△掃蕩　獨領カロリン群島中ボナペー島土匪掃蕩に關す獨艦隊任務終了す。

△奉天　の排斥騷擾に關す浦鹽通信に對し獨逸の諸新聞紙は疑念を懷けり。

△暴行　東淸線イレクテイ驛附近にて淸國軍隊暴行す重大なる問題起らん。

文苑

●金の歌　淺々庵

數多の人間を惡魔たらしむの金よ、神をも道德をも殺す金よ。

社會活動の根元たる金よ、大自在の神通力を有する金よ。

狹く去りて人生の幸福を失ひし人々の希望を滿せ。

夢幻なる希望の向上の心を潤す事の出來るを信ず若き子等には何の要あるなし。

笑はしやんすな、隣の奥様、自分ポッケットが二十一日で暖かいから、金にならない歌でも唱うのですよ。

召使れ初　墨法師

（三）の七

女ながらお察は石の如く硬き意地を持ちき、一たん斯うと思ひ決めたることとは、假し親の命なりとも、容易に變る處なきが彼女の平生なりき、お幸は氣をあせるやうに

「お父様、御立腹あらせられおや、ちやとお詫せぬかのう」

「恐れながら私、御立腹にお詫することを知りませぬ身に不調法、行爲に不義不道の事あつた時、心からお詫もしまする、けれど私……」

「又しても其様の強情云やるもの」とお幸は悲しげに「そなたお父様にお詫いふを、それほど恥辱に思やるの」

「お詫は罪過お恕しを乞ふでござります、好んですることでもなく、又强て致すことでもござりませぬ」

「此子わの〳〵」と齒を切るやうに「母が奉公口探して來れば、四の五のと文句云ひ、お父様にお詫でもせよと云へば左様な理由はないといふ、女と生れて女らしい心のない不孝兒、什麼としてその心矯正し呉れやうの」

「捨て置け〳〵」

助八は吐息の下よりいよ〳〵、彼は深く觀念の目を閉ぢたるなりき、

「一件は女らとう功名の念ないと云ひ、娘は男らしう親の心に從がはうとせぬ、揃ひも揃ふて斯く不具同様の子を持つも前世からの約束、我等運命の至らぬ故ぢや、嘆くな、恨むな、小供を當にせやうと思へばこそ腹も立つが、一生涯を貧乏と首引き、五人扶持の小人頭で、內職片手間に日を送れば何うか怨うか立つて行かれる、それより助次郎よ」と前の程より眠れる助次郎を手招き「此方此處へ來、此方は兄上姉様見習ふてはならぬぞ」



「お母様」とお察は改まりたる體に身返り「前刻も父様にお願したでござりまするが、私ちと志す方もござります、五六年が間、お暇給はるやう、お口添へなさせられ下さりませぬか」

「私は知らぬ」とお幸は空を嘯くやうに「そなたからお願ひ申しや」

「さらば私から……」とお察は助八に膝を向けぬ「お父さま、お許しござりませぬか」

「助次郎、此方」と助八はお察の詞に耳をも假さず「兄上姉様二人には似いで、立派な武士になつてたもるぢや」

助次郎は鳩の如く目をぱち〳〵瞬きて、平生になき父の様を不思議さうに見るなりき

「お父様、私お暇ひお許しござりませぬか」

「どうぢや、助次郎は什麼になる」

「お父様々々」

「助次郎、助次郎」

「お父様」とお察は強く云ひ切りて「お暇給はりませぬか」

「ねゝ」と助八は睨み付け「身勝手なこと、乃公は知らぬ」

「御存じござりませぬと……」

「如何やうとも勝手に爲」

「勝手にして……私思ふやうにして、お父様お叱りでござりませぬ喃」

「子とは思はぬ」

「ね」と流石に驚いて「私ゃ喃」

「煩獻い、只勝手に致せと申すぢや」

助八は大喝す、お察ははつと愚つぎて、暫時は詞もなく若ぬ、白き半面をてか〳〵と照る燈火の射るに任せて深く頭を垂れたりき

「お父様々々」と助次郎は詞を切る如く「坊はお馬に乗つて歩きます」

「おゝ、そなたは」と助八は此一言に慰められて「助次郎は馬に乗つて歩くといふ、此兒ばかりは親の思ふやう成人しさうぢや、二人の者什麼となりても、助次郎ばかり育てゝ遣るぢや」

米墨の葛藤

華盛頓來電に依れば[illegible]

▲獨逸大使參內

[illegible]

▲農事試驗場長招集

[illegible]

▲決算委員會の問題

[illegible]

議會と朝鮮問題

九日の貴族院に於ける朝鮮問題に就ての[illegible]

▲貴族院

[illegible]

京城水道買收に就て寺內總督より詳細說明

[illegible]

▲衆議院

[illegible]鈴木力氏より民團議員の任期延期に關する質問あり又大內暢三氏より

穀物及穀粉の輸入稅撤廢に關する建議案提出されたり

新政と舊民（四）

小松綠氏述

▲生命財産の保障

[illegible]

緊急なる施政の改善

[illegible]

苛斂誅求の杜絕

[illegible]

低率なる稅法を公平

[illegible]收することゝしたるものにして其の稅額は從前に比し遙かに低きに拘らず寧ろ不規律なる舊慣を便宜と思へる者尠からざりしなり如斯文明の制度に依り舊慣を打破するを得さる豫想外の事情なきに非ざるを以て新政に依り舊民に臨むの困難なること推して知るべし然れども施政改善の實績は何時迄も誤解せらるべきに非ず軍隊警察の配置行政、司法の分離及法治制度の創設に依りて生命財産安全となり何時を問はず無辜の冤罪を蒙るが如き患なく自己の財産は一定の法規に依るに非されば叨りに奪掠せらるゝ事なきに至りたるを以て一般人民自然に業を勵み財を貯ふるの心を生し**現時の狀態**は恰も**長夜の惡夢より醒め**來りたるか如き有樣にして今後一層進んで殖産興業の開發に盡力するの時機到來すへき望あることは最も欣ふへき現象と謂はさるへからす

●官營後の水道

京城

水道買收に關する政府の提案は別項の如く九日の貴族院豫算會を通過したれば遠からず可決確定となり官營を發表さるべし然る後水道規則は二月十八日府令第十八號の官營水道給水規則を適用さるべき筈なるが其結果從來の料金に比すれば非常の低減となり一般市民の便利此上なかるべし則ち該規則の料金は建坪十五坪迄の家屋は一箇月本栓一圓支栓三十二錢の少額にして從來の約半額を以て供給を受くべく又引込料の如きも從來は無法の暴價を貪られたるが官營後は實費を以て其需めに應じ且つ無利子月賦償却の便ある筈なり

●大連の競爭港計畫

奉天よりの通信によれば錫總督は大連に拮抗し營口の盛大を計らんため既に蓮山港の葫蘆島を築港せんことを清國政府に申請し許可せられたるを以て目下其工事に着手しをる由但し其築港費五百萬兩以上を要すれば此資金の調達に就て多大の困難を感ずる事なるべしと

東拓 金融部の昨今

岩佐部長談片

金融部の昨今は極めて無事平穩未だ著しい發展もない、能く世間で流言する東拓の擴張說は金融部に對してであらふ、併し現在の如き**窮窟な法律に束縛されて居ては身動きが出來ない**、元來此金融部は朝鮮に於ける勸業銀行の位置であるのに彼の**農工銀行**との關係を見れば何等の**聯絡が無く**互に勝手の行動をして居る樣の始末、是じや到底完全に農工資金の供給を爲し得ないじやないか、現に見玉へ農工銀行の如き條例に許されてあるのを能い事幸にして**農工方面の活動を閑却**し兎角**商業資金の供給**の爲みに**奔**つて居つてのを、尤も抵當貸付を本位とする農工資金は調査や交涉に手數を要し、彼の信用を基礎とする商業方面の回收が速かにして利益の多いのに遠く及ばないから自然之に奔りたがるのが人情であらふ、思ふに斯の如き有樣に任るは朝鮮の**開發上大に遺憾**とする處であるから。此の金融部と彼の農工銀行との聯絡を保たしめ內地の勸銀と農工の夫れの如く此を**親銀行**に彼を**子銀行**たらしむるが何よりの必要だ然るに**官廳**といふものは**中々面倒**なもので度支部內でも夫れ〳〵意見があつて**容易に纏まらない**、又同じ**總督府でも區々統一が無い**から困つたものだ、昨年末東銀から借入れた二百五十萬圓は是から追々活動さする積りだ目下の貸付現在額は約五十萬圓である、貸付先は日鮮人半々だが近頃は鮮人の申込が可なりある。此形勢から推測すると口數に於ては**朝鮮人**が多くなるかも知れぬ、彼等の**事業熱勃興**は大に**歡迎し喜ぶ可き現象**と信ずる、內地人も始めは山師的の申込みばかりであつたが近頃は着實の人が多い、隨て貸付にも餘程手數が省かれ圓滿に運ぶ樣になつた

●湖南線の兩端起工順序

既報の如く三南鐵道木浦建設事務所の設置せられしに就て其大田木浦兩端工事に於ける木浦より起工せらるゝ順序を聞くに先づ測量班に依つて木浦より線路の豫測を再開し之れと同時に實測に着手し其終るを待ち用地の買收を濟まし而る後起工さることとなれば愈々工事に着手するは少くも三四ヶ月後ならんと云ふ尙木浦停車場の位置に付ては當局に於ても水陸連絡に重きを置き完全なる設計をなすべく其敷地十万坪の豫定なりと云ふ

●鴨江と淺瀨船

近々春暖と共に鴨綠江の解氷も近づきたるが總督府にては同江警備の必要に顧み最奧の上流まで逆航し得べき淺瀨船を建造すべく目下計劃中なりと云ふ

ペスト防疫彙報

▲頑迷度し難し　新義州防疫支部にては衞生講話捕鼠獎勵の結果頑迷の民心をして衞生思想を喚起し在留清人の如きは競つて捕鼠を屆出でつゝあるが先頃より買收鼠頭頓みに減少せるを以て其原因を調査せしに頑迷の鮮人等種々の流言を放ち鼠を當廳に屆出で若し有菌鼠なる時は關係家屋を燒棄さるべしと唱ゆるより斯くは屆出ざるものと知られたりと依て直ちに吏員を八方に派し斯かる浮言の信ずべからざる所以を說明し漸く疑惑を解き得たりと。

▲詐稱清人取締　馬夫と詐稱し國境を越へんとする清國人尠からず之が取締方に就き其筋より間島總領事館と交涉せしに同館にては二月十三日より越境清國人に對し許可證明書を下附しも居る由なれば關係は此證明なきものは一切通行を嚴禁し居れりと

▲戎克を追還す　黃海道沿岸は全く解氷し航行差支なきに至れり隨て支那式船の出入漸く增加せるより當局にては嚴密に監視を行ひ監視員配置以來十隻を追還せり又附近一帶の人民はペストの何たるを解せざるものゝ如く且つ監視員の需要品に對し供給を拒むが如き傾向ある爲め附近里洞長に命じて納入を請負はしめ居れりと

▲人さま〴〵▼（三）

高橋章之助君

日々裁判所の法廷に出頭沒頭して雪冤の辯論に從事して御座る鬱々たる一紳士、是なん前代議士高橋章之助君である、今度此度光榮ある民團議員に當撰して卓勵風發の大議論を試み屢く民長を面喰はして居る處を見ると如何にも入れ籤しやで理窟一片の人としか思はれぬ、が、併し此人にも斯んな趣味がある、則ちデン〳〵界で梅哭と號し裁判所から歸ると洋服姿其儘で先づ玉三の一段『上意の次第』餘の義に有らず。王子衆ね〳〵御差しよぐるか。今日中に對首討つて渡さるゝか、二ツに一ツの御返答を』と唸らなければ氣が濟まぬ、議員當撰も辯護士高橋章之助君としてより梅哭としての此勢望大に與つて力があつた

●昨日の陸軍紀念

昨日の陸軍紀念は併合後第一回の夫れに該當せる丈けありて嘗て見ざる程の賑やかなる氣込を以て祝意を表され京城の市民宛然醉へるの觀ありしぞ宜べなりと謂ふべし而して市街の一班を見に**老弱男女織るが如く**龍山に向つて行歩し其數幾万と知らず電車の如きは終日滿員の盛況を示し居れり更に軍司令部の祝賀會場たる同所に到れば其入口には紅白を以て彩ざれる大アーチを設られ陸軍紀念と大書せる扁額を掲け見るからに其壯觀に驚かされぬ接待係の武官胸間燦ゆきばかりに勳章を佩び而かも慇懃に來賓を迎へ與れ夫れより會場に導かるれば司令部前の大廣場には角力擊劍銃劍鎖鎌薙刀芝居等の餘興夜通しも此處にも開演せられ淺草公園も三舍を避けん程の賑ひ殊に其**設備の大仕掛**なるに到りては到底市井の興行杯には觀られぬ程なり且つ師團兵士の意匠に成れる種々なる飾物は孰れも奇想天外的のものゝみにして而かも毛布や蚊帳や古服のみを以て間に合せたる其技工の巧妙なるに到りては天下一品の概あり而して何れの餘興場にも參觀の男女蟻の如く集ひ殆んど立錐の餘地もなし午後三時爆竹を合圖に模擬店の開始あり一山越へて茲に到れば十數種の模擬店山上山下に散在し幾千食つても喰ひ切れぬ程の御馳走を强いらるゝ下戶も上戶も往々として可ならざるなき接待の行屆けるに只管感謝仰しつゝ時の移るも知らざる程なる頃第二の爆竹は午後四時の時報と共に鳴り渡り食堂は開かれ立食の饗應あり宴酣にして大久保大將高壇に現はれ鄭重なる挨拶あり次で山縣總監の來賓を代表せる答辭あり大久保大將は再び起つて天皇陛下の萬歲を三唱し一同之に和し次で山縣總監の發聲にて陸軍萬歲を三唱し斯くて**和氣洋々**たる裡に或は飮み或は食ふて午後五時解散せり當日來賓の主なるものは山縣政務總監を始め各部長官局長以下高等官全部民間よりは民團民長及び商業會議所議員並に各銀行會社重役其他の紳士紳商又朝鮮人側よりは各公爵下を始め侯伯子男の各貴族並に重なる紳士、外國領事團等**無慮千二百餘名**を算せり而して當日は春寒尙は料峭として曇天なりしが幸に降雨を見ず此芽出度一日を思ふ存分祝し得たり

●鴨江漸く危險　鴨綠江上流及長津江下流は兩三日來解氷を示し通行危險となれりと

●第二師團長東京宿所　駐鮮第二師團長松永中將は師團長會議列席の爲め上京中なるが其宿所は麴町區五丁目相模屋なりと

●郡書記に榮轉　當地北部警察署詰巡查部長宮脇重晴氏は元陸軍憲兵曹長にて普通文官の資格を有しをりしが今回全羅北道の郡書記に榮轉したりと

●專賣局の調査　度支部專賣局にては所管蔘圃の警衞に充つる爲に多數の韓人巡查を配置し居れるが追々期節に入れるより一層其取締を嚴にすべく總監部に交涉の上更に十四名の增派を得十日開城に出發せしむ

●棉花栽培模範場計畫

有力なる實業家の手によつて全南に一大棉花會社設立の舉あるに就て自然其栽培監督の任に當るべき木浦に設けある棉花栽培模範場も本年度に於て擴張の必要あり差當り同場附屬同棉花採種圃六ヶ所の增設を見るべしといふ

●釜山手形交換所開期

釜山に手形交換所を開始さるべき事は本紙が逸早く報道せし所なるが其後着々進捗し去八日同地各銀行主腦者は百三十銀行支店に集會種々協議をなしたる結果愈る來る四月一日より開始することに決し交換事務は韓國銀行出張所樓上に確定し交換は各銀行より撰擧したる監事之れを指揮監督の下に各銀行より派遣の行員交換をなし不渡手形ありし場合は振出人に將來取引を停止し併せて新聞紙に廣告する筈なりと

●縣洞の上陸禁止

鎭海軍港地縣洞の海軍棧橋は本月十五日限り一般公衆の上陸を禁じ專ら軍用に供する事に決したる由なれば今後一般公衆の上陸地點は他に求むる事となれり

●大邱瓦斯會社出願

大邱の小倉、尾崎、森本、小平等の諸氏は當地實業家と協同にて大邱瓦斯株式會社設立許可を警務總監部に出願せりと

公人私人

△柳澤佐五郎（公州地方裁判所々長）不知火旅館に
△芋川正義（公州監獄典獄）同上
△金子彌三郎（海軍大主計）同上
△岩永角次（海軍大尉）同上
△荻澤忠三郎（海軍大軍醫）同上
△高木晴三（海軍機關大尉）同上
△篠田治策（平安南道內務部長）三ケ月旅館投宿
△守部鹿二郎（金澤醫學專門學校々醫）原金旅館止宿
△永島巖（平壤控訴院長）同上
△杜秀春（平壤地方裁判所々長）同上
△郷友彌（同檢事正）同上
△岩田孝藏（公州地方裁判所檢事長）巴城館投宿
△清水源（春川區裁判所檢事）同上

▲京城手形交換高▼

月日	金高	枚數
三月九日	一四〇二、〇九、九三	四一一

●民會雜觀

議員の定數から見ても多士濟々の點から言つても詰まらぬ內地の縣會は到底京城民會の御大層なるに及ばぬ譯で毎々面白く傍聽に罷出るが唯だ惜むらくは其權限が餘りに狹く折角調盛んなる諸君をして徒らに髀肉の嘆あらしむるを▲今日は一寸遲れて參じた處が今期第二に基本財產規則案の第二讀會で中島君が反り身になつて太神宮樣の財產に關する一項を削除せる委員の修正案を駁擊し原案復活を論じて居る眞最中であつた▲之に對する原君の修正案維持說城君の壯觀保持論等があつたが他は默して言はず當時睨み合ひの姿を見て默つた議長討論終結と認めますとて採決を宣告し更に三讀會省略を諮らんとするや異議あり〳〵と呼ぶものがある▲議論あらふ例の皆川君だ曰く太神宮基本財產の項目を他の末項に置くは神威を汚すの虞れあり故に他項の上位に置くべしとの字句修正說である處が嘗て同宮經費削除論を唱へた皆川君丈けに一層奇響き渡つた▲而して採決の結果採用せられ更に大多數を以て原案を復活し大に委員の面目玉を踏み潰した▲次ぎは吏員手當舍宅料支給規則案で委員長原君唐辛に山椒を振つ掛けた樣な辛辣極まる口上で委員會の經過を報告する▲スルと岩田君が隣席の中村君と諜し合せて下級吏員の舍宅料增額修正案を提出し又城君からも似て非なる增額案が出た時學務係の書記先生ホク〳〵顏で感謝の意を捧げて御座る▲形勢稍や有望となつた時皆川君起も吾輩も舍宅料增額必要と認むる一人だ故に委員會に於ても之を主張し民長以下高級者に減額を行ひ下級者の增額を計るべしと唱へたが民團助役會計役は口を揃へて吾々のを減額されては困るが下級者は今の給與で充分であるから何卒上げて與れるなと賴む上げて與れるなと賴むものを何をか取越苦勞して腹がられ紹介を出すを要せんやと皮肉る▲就に於てか岩田君も民長に於て鄭重御意見ならば先刻の修正案は撤回してモウ斷じて上げて遣らぬと出掛くる▲民長之に對して簡單に辨解を試み決して其本意に非ざるを述べ他日の伏線を張つて置く▲討論漸く終結して議長採決を宣じ岩田君と城君と二つの動機があるから之に依りて決を採らんと述ぶ議長は岩田君の修正案撤回を知らぬのと見へる▲斯くて俵城君の修正案に依り採決すれば僅かに五名の少數大多數にて現狀維持が可決されて怨めしさうに議場を睨めて居る吏員其處にも此處にも時に午後六時休憩五分間の宣告▲此時京日社長吉野太左衞門君觀光團に關する印刷物を携へノソ〳〵として現れ民長に耳語して忽然として消ねて失くなつた▲早や議事は開かれ原君の委員會經過報告がある議案の會議規則は大勢既に定まつて居る記者は公僕に堪へぬ耳を歸つて了つた。

危かし 井門支店の運命

朝鮮新聞の記者何某に依りて短銃强盜と罵まじき女なりと傳へられたる新町遊廓は井門支店の濱次ざ云ふは本年二月親元身受けとなつて郷里へ歸つた彼れが其の歸るに莅んで樓主山路に對して自分が今迄犯した罪と井門支店に對し抱へられた當時から胸に懐いた陰謀を懺悔した一伍一什、少しも嘘のない所で紹介して見よう

旦那、長らくれ世話に成りました、隨分時候をれ厭い下さいまし、と樓主の前に表情に富んだ星の如な——優しいとよりは凄の夜の星の如な——併し多ろ物凄い底光りのする眼を瞪ませて窃やかに辭儀した濱次の指には寶玉入りの指環が燦めく。

『何んだかれ名殘り惜しいね前も時には隨分ヤン茶も行つたが稼ぐ方は拔目なく行つて與れたから差し引くと功勞の方が多いのみならず僕が直接抱へて來たれ前と云ふ譯だから從つて一層名殘も惜まれる、が堅氣になると云ふのだから引き留める譯には行かない、兎に角芽出度い引き祝いに一盃爲ける事にしてあるから悠緩飲つてれ與れよ』『ハ、是非頂戴してよ、と云ふのにはね、醉つてね、旦那………貴郎に白状したい事があるのよ』

『持つて頂戴、なんぼ醉つた方が話しが仕善いと云つた處が此の上醉つちやア堪らないワ、御存じの通り本名は内貴よし……エ何んですつて大層温和相な名前ですつて……マア冷評さずにれ聞きなさいよ、一通れ話し爲たかも知れませんが兎に角妾が此の稼業を爲ることに成りましたのが八年前の十九の夏、即ちですね、即ち三十七年の七月。陰氣おやないのよ全くね、妾の方から此の人なら命までもと打ち込んで深アく言ひ交はした情夫があつたの——エ、請け賃にはれ手酌で澤山召し上つて頂戴よ

ホヽヽと寂しく笑つた濱れは、ありし昔を夢みる如に恍惚なつて……

堪忍して聞いて頂戴よ、捨てられる身とは知らないで其の人の爲めに三年半の定めで前借四百圓で身を賣つたのが仁川の敷島樓、別れる時に男と誓つた言葉もあれば眞面目に稼いで一日も早く借金を濟まして可愛い情夫と一緒にならうと雛助と名乗つて一所懸命樓主大切客大切と稼いで居る内に郷里に[illegible]れない姿を可憐かつて與る雛助と云ふ女と姉妹の約束をしました、此の女は明警業には優しいけれど實はナカ〳〵の惡業で忘れも爲ない其年十月足抜きの相談を持ち掛けられた、其樓恐しいことだと思つて一旦はキツパリ斷つたが雛助は肯かない内地に鬼五郎と云ふ前料持ちの情夫のある事迄打ち明け何うでもれ前が肯かないなら妾や一人で逃げて見せる併しれ前は其の儘に置ないと威喝されたので承諾して持つて衣類を樓主に預け四十圓と云ふものを借り受け對手に撰んだのが當時京義線金山驛の附近に居た土方の山脇源六、手筈を定めて或る夜の一時頃密かに敷島樓を忍び出で朝鮮小舟に雛助と三人漢江を溯つて碧瀾渡迄逃げ延び此所に一泊して金山に行て潜伏して居ましたのよ(つゞく)

●小富士の雲隱れ

小富士と申せば解樣にはアノ仁川一富士の自前藝者かと早合點なさるでしようが此處に書き擧ぐるは左にあらず仁川猫島新地藤の家酌婦小富士(二四)と仁川濱町二丁目邊に住へる龜井幸七(三八)とが馴落の前後を書かんに兩人が馴染んだのは昨年の三月何幸七が一献飲召した千鳥足にて前記藤之家に登樓小富士と一夜の契りを結びしが抑々の原因其後と云ふ其後も雨の日風の夜も會になきや虫が納まらぬと云ふ有樣にて足繁く通ふにぞ最初の程は何とも思はざりし小富士も自然情が移らぬ仲となり遂には定まの起證誓紙を取替すに至りたれば幸七の一方ならず此の上は一層宿の妻に成る日樓主に談判せしに小富士は俺の妾の妹なれば別段金をかけてる譯でなし普通の妓輩とは少々異つた點もあるからと拒絶されしに詮方なし如何にせばやと思案の末同新地組合事務所の某に右の事情陳べ藤の家に金三十圓を包んで依頼せしに相談らず、妹の縁は妹にまかす又た本人が嫌ふ所には自分は行けとは言へずと返答せしにぞ漸くと幸七に告げければ此の上は小富士を引張り出すより外に術べなしと口説きしかば何の異存もあらうか前の約束通り悉り寸すと話し一決愈々翌日より濱町の吾家に連れ歸り居たるに兩三日經過後姿を匿したれば幸七の驚き一方ならず血眼になり探し〳〵所藤の家に歸宅して居るを知れしより早速乘込んで一談判せんとの意氣込にて樓主に面會を求め右の始末を陳述に及べば何もれ前は嫌ふ妓を嗋にせんでもよいではないか最初から此の事に就ては拒絶して居るにも拘らず樓より引張り出した故話しは知らんと一刀兩斷の許に言ひ捨てられ開いた口に言ふ事もならずそれならば今夜だけ小富士の所に宿を貸してくれ藻張りを男らしく離別すと嘆願せしかば樓主もそれを許し二階四疊半に同衾せしめしが同夜何を話したものか翌日正午になるも二階に人の居る氣色なき故同座敷に飛込み見ればこは如何に蝉の脱殼見た樣に二つ枕に三つ蒲團ありしのみとは隨分夢見たいな狂言かなと評判の儘を

●雜誌記者の恐喝

日韓實業雜誌社員の詐欺取財横領恐喝未遂罪の豫審終結公判に付せられたる事件の大要を記せんに廣島縣人石井勝治郎(三五)は同社外交員として購讀者募集及雜誌代集金掛りとして京都府生れ小谷忠次郎(三)は支社主任書記として勤務中勝治郎は雜誌代數十圓を横領し尙くは購讀者を欺罔し數十圓を詐取し尙は同人の知友佐藤梅太郎なる者が四十二年八月頃疾病に罹り慶尙北道金山郡邑内醫師中田某に治療を受けたるに不當の入院治療代を請求せられしに加へて中田醫師は無免許なる事を梅太郎より聞知し記者小谷に之を話し同人と共謀して中田醫師を恐喝して金員を騙取せん事を企圖し四十三年五月頃大邱迄行き兩人にて中田醫師を訪問して佐藤梅太郎より不當の入院治療費を獲得したる事實及び且つ無免許なる事を新聞記者が探知し居るを以て其の旨注告するが自分等より停めてやる云々と恐喝したるも金錢授受に至らずして其筋の探知する處となり遂に檢擧され京城地方裁判所野田檢事の手にて公判に付せらる

●日曜樓主起訴

新町洪耶日曜樓娼妓春海事三上あさが樓主に金の信用上の事より不謹愼の言語

●陸軍記念追悼會

本願寺別院にては十一日午後二時より陸軍紀念追悼會を催す由にて軍司令部、師團司令部、各聯隊、各憲兵隊の各將士及總督府高等官に案内状を發したるが同日は餘興として薩摩琵琶及茶菓の饗應ある筈尙一般人の参拜をも希望すと

●盜んだ物で商賣

長崎縣南高來郡加津佐生れ荒木清(三)は仁川某商店に雇れ居たるが昨年暮頃より敷會堂下の飲食店湊屋の酌婦中村ユキ(十九)に現を抜かし主人の賣掛代金を胡魔化し其の金を以て同女を身受し花町相良屋方へ預け置き一月中旬主家を暇を取り寺町二丁目に雜貨店を開き居たるが元主家の酒七樽及米其他掛金六七十圓消費し居る事仁川署の刑事が探知し十日檢事局送りとなる

四ッ手網

◎一口噺 化物生

傍聽人『曾我と皆川は議場で激論したが感情が惡くならねば善いが ○長『心配御無用其場限りで皆川に流します

預金者『京城で何の銀行が一番慥ですか 京城通『無論韓銀です 預金者『資本金は幾何ですか 京城通『資金は知らぬが家が石造だから一番堅いです

坊『民團では京城にベストが侵入する積りか 父『其積はあるまい 坊『デモ大きな火葬場を急で作るソウナ

●工事中に墜落す

漢江六統四戸安斗弘方居與任允(四〇)は八日午後五時頃漢江十六統七戸林宗相に傭はれ高サ二間余の處に材木(一尺五寸角のもの)引揚工事中墜落し前頭部に長さ二三寸深さ前頭骨に達する負傷をなせしかば傭主林宗相は直に擔荷にて南大門外米國人經營の濟衆病院に擔ぎ込み治療中なるが生命覺束なからむとの由

●切手を澤山拾ふ

仁川京町一丁目一番地一の瀨岩吉(四六)は九日濱町宮川組前道路に於て三錢切手百八十八枚二十錢切手三十一枚十錢切手二十枚五錢切手二十枚一錢五厘切手一枚一錢切手二枚皮鞄在中のまゝ拾得届出遺失者千鳥正宗支店々員にて下渡したり

●四人組强盜判決

去月十三日仁川署の刑事に逮捕せられたる强盜犯人朝鮮人四名は九日京城地方裁判所仁川支部に於て左の如き判決ありたり

懲役十年梁柱錫△同金要根△同五年韓京雲△同三年李聖賢

●遺失

九日午後十時頃仁川濟町二丁目三番地住山口初太郎は京町魚市場より歸途中一圓紙幣七枚五十錢銀貨三枚其他若干錢と自分の實印借用證書等入の博多紺茶色財布のまゝ紛失届出たり

●觀世素謠會

京城觀世會にては十二日午後六時より京城婦人會々場に於て十五回素謠會ある由にて番組は

右近(シテ木村、ツレ秋場、ワキ西本)忠度(シテ安藤、ワキ寺川)熊野(シテ稻垣ツレ陶上ワキ森)櫻川(シテ芦刈男井上、ワキ寺田)西行櫻(シテ鈴木、ワキ柴田)番外嵐山(シテ梅田、ツレ横松夫人、ワキ横松)田村(シテ石川、ワキ杉山)附祝言

●演藝だより

●浪花節 好人氣なる浪花節吉田春團一座十一日の語り物は

天龍川仇討吉岡武勇傳(京山愛幸)後藤小金吾(吉川數夫)伊賀の水月荒木美談(喜樂亭八)武田八劍士(日本軒雲龍)令孃の爭因果の裁判、梅山大佐(吉田春團)

●京城座 好評の兄弟義團十一日の藝題は聽辨當野村寅雄全八幕にて配役は野村牛込署長(岩村)大井刑事(花房)仲居やゑ(堀江)馬丁長吉(吉井)足本中佐(谷)同令孃みずゑ(塚本)野村寅雄(松澤)惡漢熊塚(藤澤)小木曾義忠(小泉)藝妓小さん(東)茨木屋せつ(江見)

●仁川歌舞伎座 片岡一座相變らずの關口彌太郎の續き

●下宿業組合創立

京城下宿業者間に於ては今回同業者組合を組織し規約作成の上過て其筋へ出願中の處今回本月六日付を以て明石警務總長より組合代表者竹下武二氏に宛て下宿業組合設立及規約作成の件認可せられたり今回認可されし規約中重なる條項は組合營業上改良發達を圖ると役員探定の下宿客にして宿料不拂なるときは直に其筋に屆出相當の措置をなすと尙組合決議事項としては市内に於ける無鑑札營業人下宿家は此際漏さず捜索の上警察署に告訴すると等なり役員は取締役に南山町四丁目竹下館竹下武二、副取締役大和町一丁目榮家館山本角次郎、評議員旭町砂川三郎、北米倉町鬼頭靜、西小門通横松伊吉、南山町森伊太郎、御成町富田吉太郎等當選せりと

▲寧民文▼

▲南大門外原尾立造なる名を以て酒屋の横暴と云ふ標題で千歳酒店の事に就て下の如き投書が來た眞實とは受取れぬか支店主の參考になると考へたから掲せる▲曾て同店より發行せし千代田五樹の酒券を貰つた必要に依り内一升を取りに遣つたら五升券請取れと云ふ▲處が僕の方には容器がないから請取れぬと云ふと店員は面倒だから是非全部請取れと暴言を吐いたと云ふのだ▲事實とすれば横暴も少々大袈裟だが不親切の誹は免かれぬ(係)

▲元旭町三丁目富田屋料理店に居た酌婦一龍事淡路生れの砂川久ゑと云ふ中年増の女に是非面會の必要ある人の噂に南山町一丁目沖に矢張り酌婦を稼で居ると聞た故捜索したが知れぬ若し同人所在御存知の方はれ知らせ下さい(神戸人小林生)▲仁川の民長さん如何に官選だからとて別に威張るてとはない居留民に對し今少し親切にせられよ頭ばかり光つて居ても財會行政の足元が暗がりでは困きますよ(居留民生)▲狹き街路をノソリ〳〵と牛の手綱を長くして曳き行かるゝには閉口します當局にて注意されたい(怨牛)▲長谷川町の古道具屋に當用日記の古本がある誰れも買人はあるまい(来見生)▲當用日記を賣つた奴は餘程馬鹿だナ(小僧)▲八日の午前九時頃有明樓を北へ下りた四角の所の角屋で小さい子供が二人巫山戯て居たが一人の方が障子に頭を打ち附けて泣き出すれ父ッあんが怒つて一人の方を叱る二人一緒に泣き出すれ母さん三間斗り下の塵芥溜めの所に居たが聲聞きけて『何うしたんや』と表から聲をかけるイヤ子を持つた親の心には少時も油斷はない見て居た僕はサク〳〵親の有り難さを身にしめた(若い男)▲本町六丁目の藤宮圓商店の店員さんが電話口へ立つて『エーれ米は値が上りました上の方が……』と入川の朝云つて居ました(近所の者)▲米の値は騰つたのかしら降つたか知らない君が羨ましい實際上つたんだよ(小僧)

今日の運勢

●三月十一日舊二月十一日五黄庚辰赤口のぞく△一白不利不運の日なり情義に馴られ損失を來す勿れ出資貿收起業開店旅行轉住婚談裁判談判効無し△二黑婚姻共同連盟結社宴會に忌む他の行事進んで吉△三碧中裁金品授受帳簿證券の事故障起り易し新事婚談旅行凶△四綠不得要領の日起工起業旅行開店談判裁判委囑商議相談難し△五黄諸事謹愼の事酒色賭事射倖的の行爲を禁ず遺失防ぐべし△六白快欣の日大抵吉負傷衛生不和を戒しむ△七赤雇入れ共同連盟結社の事に忌む他は平常通事進んで支障無△八白新事旅行婚談凶整理改革買賣交渉遂行支障なし遺失防ぐべし△九紫旅行移住に忌む他は進んで吉而も自由に裁談合に好し(本町五丁目三一館判斷)

●天氣豫報(自十一日午前六時至十一日午後六時)

北西風曇

▲南大門驛乘降客 九日の分 乘車客 六二四 下車客 九九七 ▲南大門驛荷扱高 九日の分 發送 一九八噸 到着 二六六噸 貨物賃金 六二五、五五

▲[illegible]驛 乘車賃金 一六四、九七 發送 五噸 到着 六七噸 貨物賃金 一二八、六五

▲仁川港の出入船舶▼ ▲隅田川丸 同 大連に向出港

▲相場電報(十日) 明治町西村支店着電

▲神戸米 [illegible] ▲大阪 [illegible] ▲紡績 [illegible] ▲株式 [illegible] ▲取引 [illegible]

●十日前場三月寄り十五圓八十錢▲四[illegible]

誰でも出來る

●子宮病自宅療法 (廣告)

子寶なき原因ご姙娠法
春先に注意すべき婦人の衛生

恐るべきは子宮病で第一壽命を縮め、第二子供が出來ず第三容姿を醜くします子宮病には急性のものは極めて稀で多くは慢性で御座います、皆様も御存でせう

●月やくが不順の人
●逆上頭痛のする人
●肩凝眩暈のする人
●脚腰下腹の痛む人
●手足が冷ゆる人

斯樣な御方は眩度神經過敏で、血色の惡い青白い顔をして居られます、又頬などの赤くなる方は、俗に云ふこしけが多いので、何れも子宮病や血の道に罹つて居られる證據であります是れが永く續くと段々衰弱して身體は痩る、貧血はする呼吸は苦しくなる、動悸は亢まる、其他食物は進まず、便通は惡く、氣分は鬱ぎ

●駄々子の樣に短氣で

不快で氣六ケ敷くなり、一寸した事が氣にかゝり、譯もなく過ぎ去つた事や種々の取越し苦勞をして、泣いたり怒つたり、悲しんだり、而して物事に倦み易く勞れ易く、嫌になり手足が痺れ、惡寒がし、續いて發熱する下腹が重苦しく、條張り、內股や腰の邊りが絕ず痛み、小便には度々行きたくなり、局部の周圍が痛痒く、不潔で、いやな臭がし、終ひには卵の白身の樣な粘りある下り物が(白帶下)して、時々出血する事があります、斯うなると病勢は餘程進んでるのですから、治療が少しでも遲れると一生涯不姙となり辛い淋しい月日を送るばかりか、取り返へしの附かぬ重症を惹起して、命迄も失ふ事になります、ですから此時期が一番大切で、又最も危險な云はゞ死生の境目で御座います殊に

●婦人病者の大敵は

草木の芽立つ春季で御座います、何せかといふに、此時期は人間の身體の諸機能に一大變調を來す時でありますから、持病のある人は勿論の事、平素壯健な人でも、兎角いろ〱の病魔に犯され易いので御座います、況して子宮には冷ゆる事が一番惡いとしてあるのに、寒中何誰も相當に冷ゐ込んで居るのでありますから其酬ひが此時候の變目に禍して、よしや子宮に大なる異狀を起さぬ迄も、月經が不順になつたり、始終下腹部に鈍痛を感じたり、或は流產の不幸を招いたり或は產褥熱に罹り易いもので御座います、何れにしても春季は一年中に於ける四百四病の發生期と云ふ位でありますから、此時は片時も油斷をせず、早く適當の養生をせなければなりません、以下其養生法を詳しく述べませう

(注: 上記中「月經が不順になつたり…」以降は下段冒頭に續く)

●子寶を得る最良法

一体婦人病の中で子宮病程罹り易い多い病氣はありません、此の病氣は大抵緩慢に來るもので、急速に惡くならぬから、始めの內は自分で氣が附かず、時候の加減か、此頃少し月經が不順のやうだ位に思つて、自然養生を怠り勝で御座いますし又一旦本病に罹ると如何に輕症のものでも、全く根治なしい間は何うしても子供が出來ません、世間に子寶がないと、自分等夫婦には子種がないのだと、斷念めて居る方も尠くない樣ですが、決してそんな道理はない、勿論其弊が良人にある事も御座いますが、十中の八九迄は婦人方が本病に犯されて居るのが多いので御座います、子宮病の治療は多く手術をいたしますが、手術をすると治りが早い代りに再發し易く、亦全快した後でも姙娠する事が極めて稀で御座います、それに手術を受くるには、身体の最も強壯な方でないと、到底堪へられません、然らば

何するのが一番よろしいかと云ふに、夫れは婦人科專門の大家醫學士北畑孝夫先生の御審になりました

●婦人病者の心得

を讀んで、其通りに養生なさるのが、最も完全で、最も確實な、療法で御座います、婦人病者心得は、先生が多年の研學理と、實際に基き、研究せられた結果を纏めて一冊に納めたもので、婦人方に必要な一切の養生法は悉く詳細に說明して御座います、此方法によりますと大抵の病氣は、自宅で容易に根治せられ、御希望通りに姙娠が出來ます、皆様理屈では病氣は治りません早く此療法を試みなさい

(記者曰く婦人病者心得はハガキにて東京市京橋區新榮町徴岡雲三氏宛申込めば無代送附せらる
